

議員提出議案第17号

個人情報流出事故を繰り返さないことを求める意見書

上記の議案を提出する。

平成27年6月29日

提出者

6番	峯岸良至	22番	大高拓
24番	平田みつよし	25番	筒井たかひさ
29番	上村やす子	30番	三小田准一
31番	中村しんご	32番	荒井彰一
33番	上原ゆみえ	34番	出口よしゆき
35番	安西俊一	39番	米山真吾

葛飾区議会議長 秋家聡明 殿

個人情報流出事故を繰り返さないことを求める意見書

日本年金機構は6月1日、職員の端末がサイバー攻撃を受け、個人情報約125万件が外部に流出したと発表した。いずれも加入者の氏名と基礎年金番号が含まれ、うち約5万2000件には住所も含まれていたとしている。

流出したうちの55万件は、内規に反してパスワードが未設定だったといい、また、不正な電子メールの添付ファイルを開封したことでウイルスに感染したとしているが、このような人為的単純ミスで攻撃を防げなかったことは、今後も対策が取られなければ、同様のミスが起りかねないことが推察される。

さらに、5月8日に機構より厚労省に連絡が入っていたにもかかわらず、担当の上司に伝わるまで20日近くもかかっており、これも危機管理上大きな問題である。

国民は、今回の事件によって個人情報の安全性に大きな不安を持たざるを得なくなっており、今後、国が管理する個人情報がさらに広がることが予定されていることから、今回の事件を看過することはできない。

よって、本区議会は政府に対し、下記の事項について強く求めるものである。

記

- 1 今回の日本年金機構の個人情報流出事件の、徹底した原因究明を行うこと。

2 国は今後予想される新たなサイバー攻撃も含め、絶対に個人情報を流出させないために、二重三重のセキュリティー体制を構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。